

# MS&AD Report

中間ご報告

2011.4.1～2011.9.30

証券コード:8725

立ちどまらない保険。

**MS&AD** MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

## 目次

- 01 株主の皆さまへ
- 03 東日本大震災への対応
- 05 業績ダイジェスト(2011年度中間期)
- 09 会社概要／役員／株式の状況
- 10 株主メモ
- 11 インフォメーション



持続的成長と企業価値向上を  
追いつける世界トップ水準の  
保険・金融グループを創造します。

代表取締役社長

江頭 敏明

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年度中間期(2011年4月1日から2011年9月30日まで)のご報告をお届けするにあたり、あらためて震災、台風等により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、当中間期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しさが残る中、サプライチェーンの立て直しにより生産や輸出が持ち直すなど、緩やかながらも回復の動きが見られましたが、その後円高や株式相場の下落が進み、景気の不透明感が増す状況となりました。

このような環境のもと、正味収入保険料は1兆3,036億円と前年同期比20億円の増加となったものの、有価証券評価損および台風15号などの自然災害の発生等の要因により、中間純利益は71億円と前年同期比329億円の減益となりました。

2011年度中間配当金につきましては、前年度と同額の1株あたり27円とさせていただきます。

なお10月以降、タイにおいて多くの日系企業が入居する複数の工業団地が冠水する洪水被害が発生しましたが、当社グループにおいては、いち早く現地に災害対策室を立ち上げお客さまとのコンタクトを取るなど、被災状況の確認に努めております。これら今後の事業環境の見直しおよび中間期の連結業績を勘案し、2012年3月期(通期)の連結業績予想の修正を11月18日に発表いたしました。

一方、本年10月には生保子会社2社が合併し、三井住友海上あいおい生命がスタートしました。また、海外でもアジアを中心とした成長地域に対して積極的に事業投資を行うなど、昨年4月の経営統合以降、“世界トップ水準の保険・金融グループ”の創造に向けて順調に歩みを進めております。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

## 三井住友海上あいおい生命の誕生

2011年10月1日に三井住友海上きらめき生命とあいおい生命は合併し、社名も新たに「三井住友海上あいおい生命保険株式会社」としてスタートしました。

新会社は、わが国の保険・金融サービス分野において主要な地位を築き上げてきた当社グループにおける国内生保事業の中核会社として、持続的な成長と収益力の向上を実現してまいります。

このたびの合併を飛躍的な発展の好機と捉え、すべてのお客さまに安心と満足をお届けし、お客さま・社会からゆるぎない信頼を得られる企業を目指すとともに、損害保険会社系列の生命保険会社で最も優れたビジネスモデルを創り上げてまいります。



### 新会社の概要

社名(商号)	三井住友海上あいおい生命保険株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋3-1-6
資本金	355億円
総資産	1兆7,897億円(2011年3月末) <sup>(注)</sup>
保険料等収入	3,531億円(2010年度) <sup>(注)</sup>
保有契約高	16兆4,329億円(2011年3月末)* <sup>(注)</sup>

\*個人保険と個人年金保険の合算値

(注)(旧)三井住友海上きらめき生命と(旧)あいおい生命の両社数値を単純合算

## 当社の株主還元方針について

グループの中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」では、統合効果の発揮と成長戦略の推進による収益の拡大を株主還元の増大へとつなげることを謳っています。

具体的には、配当と自己株式の取得を通じ、中期的に「グループコア利益」の50%を目処として株主還元を行ってまいります。また、成長領域への積極的な事業投資を継続することにより持続的な成長サイクルを実現し、利益の拡大を通じて株主還元の増大を目指します。

### グループコア利益

MS&ADインシュアランスグループにおける「グループコア利益」は、MS&ADインシュアランスグループ独自の利益指標で、以下の方法により算出します。

算出方法 グループコア利益=連結当期利益-株式キャピタル損益(売却損益等)-クレジットデリバティブ評価損益-その他特殊要因+非連結グループ会社持分利益

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

MS&ADホールディングス	(=MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社)
三井住友海上	(=三井住友海上火災保険株式会社)
あいおいニッセイ同和損保	(=あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)
あいおい損保	(=あいおい損害保険株式会社)
ニッセイ同和損保	(=ニッセイ同和損害保険株式会社)
三井ダイレクト損保	(=三井ダイレクト損害保険株式会社)
三井住友海上きらめき生命	(=三井住友海上きらめき生命保険株式会社)
あいおい生命	(=あいおい生命保険株式会社)
三井住友海上あいおい生命	(=三井住友海上あいおい生命保険株式会社)
三井住友海上メットライフ生命	(=三井住友海上メットライフ生命保険株式会社)
三井住友海上プライマリー生命	(=三井住友海上プライマリー生命保険株式会社)
インターリスク総研	(=株式会社インターリスク総研)

# 東日本大震災への対応

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方および関東地方を中心に未曾有の被害をもたらしました。

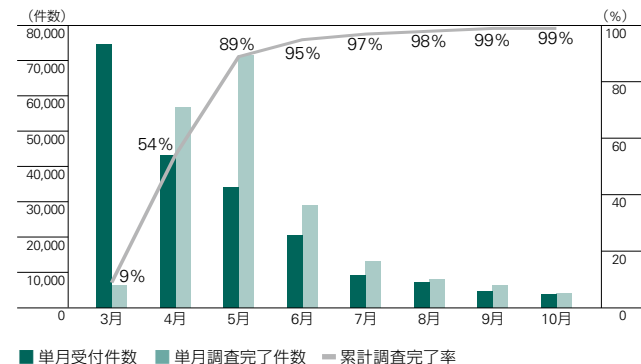
保険・金融サービス事業を通じて安心と安全をお届けすることを経営理念に掲げるMS&ADインシュアランスグループは、被害にあわれたお客さまにご安心いただき、一日も早く保険金をお支払いすることを最優先課題として捉え、全社員が総力を挙げてお客さまへの対応を行ってまいりました。

## グループを挙げてお客さま対応に取り組みました

地震保険の受付件数、支払保険金(2011年10月末現在)<sup>(注1)</sup>

受付件数 <sup>(注2)</sup>	調査完了件数 <sup>(注3)</sup>	支払件数	支払保険金(千円)
197,585	195,741	173,719	313,126,736

地震保険の調査完了件数の推移



三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保2社の地震保険受付件数は総計で約20万件と、過去に例のない規模となりました。両社では、震災発生直後よりご相談窓口を設置し、お客さま対応要員を大幅に増員して万全の事故受付・保険金お支払い体制を整備するなど、グループを挙げてお客さま対応に取り組み、「被害にあわれたお客さまのために、一日も早く保険金を支払う」という保険会社としての使命を果たすべく、地震保険等の迅速な保険金支払いに努めてまいりました。その結果、累計の調査完了率は、10月末で99%となり、現在までに被災されたお客さまへの対応はおおむね完了しております。

今後も、お客さまへ損害発生の有無を確認する取り組みを継続し、被害にあわれたすべてのお客さまへの確実な地震保険金のお支払いに努めてまいります。

(注) 1. 三井住友海上・あいおいニッセイ同和損保の合計となります。  
2. 「受付件数」には、事故に関する調査のご依頼のほか、地震保険の補償内容・お客さまのご契約内容に関するご相談・お問い合わせなども含まれています。  
3. 「調査完了件数」には、調査が完了して、実際に保険金をお支払いした件数のほか、保険金のお支払い対象とならなかった事案やご相談・お問い合わせなどを受け付けた段階で解決した事案などの件数も含まれています。

## 災害への備えをお手伝いしています

### 事業継続計画の策定を支援

今回の震災を受けて地震対策への関心が高まっており、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保はグループ会社のインターリスク総研とともに、企業の事業継続計画(BCP)の策定や見直しを支援しています。

### 地震保険の普及

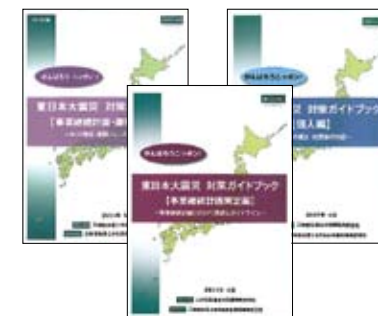
地震保険の普及促進は、的確・迅速な保険金のお支払いとらば損害保険業界としての社会的使命の一つであります。震災以降、地震災害に対する補償ニーズは急激に増加しており、地震保険の商品内容を正しくご理解いただいた上で、一人でも多くのお客さまにご加入いただけるよう、取り組みを進めています。

## 被災地域の復興を支援しています

### ガイドブックによる情報提供

三井住友海上では、被災されたお客さま・代理店の復興に向けた活動支援のために情報提供ツール「東日本大震災 対策ガイドブック」(全5シリーズ)を作成、グループ各社とともに被災地を中心にご提供を行っています。

本ガイドブックは、個人・企業向けに、地震への備えや地震発生後にとるべき対応などを、東日本大震災の事例を踏まえテーマごとに整理・解説しており、大変ご好評を頂いています。



東日本大震災 対策ガイドブック

### ボランティア活動

MS&ADインシュアランスグループでは、東日本大震災被災地の復興支援の一環として、2011年7月よりグループ社員によるボランティア活動を開始し、9月末までに合計104名の社員が活動に参加しました。本活動では、現地のNPO法人と連携し、震災により被害を受けた水田を、多様な生き物が生息する元の豊かな水田に再生することを目標としています。

このほかグループ各社では、被災地で生産された米や物産の購入を検討するなど、被災地の復興を継続的に支援すべく、グループを挙げて取り組んでいきます。



現地での活動の様子(南三陸町)

### 継続的な支援活動

あいおいニッセイ同和損保では、被災地域の復興支援を継続的に行うことを目的とした取り組みの一つとして、同社で展開している地域AD倶楽部と連動した活動「たすけ愛・ささえ愛プロジェクト」を開始しました。社内だけでなく代理店や地域の企業のほか、社外取引先などにベルマークの収集を呼び掛け、被災地の小・中学校に寄贈して被災した学校設備の再整備に役立てるほか、被災地の農産物を販売する物産展を地域ルー方式で全国で開催するなど、東日本大震災からの復興支援に努めています。



物産展の様子

### 義援金の寄付

MS&ADインシュアランスグループでは、被災地・被災者の方々の支援を目的にグループ会社の社員から義援金を募り、最終的に9,000万円を超える義援金が集まりました。災害時義援金マッチングギフト制度による会社拠出分と合わせて総額1億5,000万円を、日本赤十字社や被災者支援活動を行う団体など10団体へ寄贈しました。また、グループ会社の海外現地法人・支店などからも義援金が寄せられ、別途、3,225万円を寄贈しました。その他、Web約款の利用実績などに応じて被災地への寄付を行うなど、保険業を通じた復興支援活動にも取り組んでいます。



学用品を受け取った子どもたち(気仙沼市)  
写真提供:World Vision Japan

# 業績ダイジェスト (2011年度中間期)

## 連結業績について

損害保険事業における正味収入保険料<sup>(注)</sup>は、前年同期に比べ0.4%増収の1兆3,052億円となりました。また、生命保険事業では三井住友海上きらめき生命とあいおい生命がともに大幅増収したことに加え、三井住友海上プライマリー生命が連結子会社となったこともあり、生命保険料は前年同期に比べ80.4%増収の2,055億円となりました。

経常利益は、台風15号などの国内自然災害や市場環境の悪化に伴う有価証券評価損の増加を主因として、前年同期に比べ613億円減益の92億円となりました。

経常利益に特別損益、法人税及び住民税などを加減した中間純利益は、前年同期に比べ329億円減益の71億円となりました。

## 国内損害保険子会社の業績について

### (三井住友海上 単体)

正味収入保険料<sup>(注)</sup>は201億円の増収となりましたが、台風などの自然災害の影響による発生保険金の増加および市場環境の悪化に伴う資産運用収支の減少などにより、中間純利益は前年同期に比べ220億円減益の53億円となりました。

### (あいおいニッセイ同和損保 単体)

台風損害の発生や市場環境の悪化があったものの、自動車の発生保険金の減少や、前年同期にあった経営統合関連費用206億円の負担がなくなったことなどにより、中間純利益は前年同期に比べ91億円増益の148億円となりました。

### (三井ダイレクト損保 単体)

正味損害率が低下したことなどにより、中間純利益は前年同期に比べ2億円増益の4億円となりました。

## 国内生命保険子会社の業績について

### (三井住友海上きらめき生命 単体)

新契約の増加および解約返戻金等の減少により生命保険料は162億円の増収となりましたが、あいおい生命との合併関連費用として20億円を計上したことなどにより、中間純損益は前年同期に比べ5億円減益の▲5億円となりました。

### (あいおい生命 単体)

新契約の増加により生命保険料は57億円の増収となりましたが、三井住友海上きらめき生命との合併関連費用として20億円を計上したことや人件費の増加などにより、中間純損益は前年同期に比べ32億円減益の▲24億円となりました。

### (三井住友海上プライマリー生命 単体)

個社決算ベースでは、運用環境の低迷に伴う資産運用損益の悪化などにより、中間純利益は前年同期に比べ46億円減益の44億円となりましたが、当期に当社の完全子会社となったため(前期は持分法適用会社(持分割合50%))、連結ベースでは1億円の減益となりました。

## 海外保険子会社の業績について

再保険子会社において自然災害の発生による影響があったものの、アジアおよび欧州で増益となったことから、中間純利益は前年同期に比べ68億円増益の75億円となりました。

(注)「業績ダイジェスト」では、三井住友海上の独自商品である自動車保険「もどリッチ(満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。

## 2011年度中間期 連結決算の概要 (MS&ADホールディングス 主要項目)

(億円)

	2010年度中間期		2011年度中間期	
			比較増減	増減率(%)
正味収入保険料	13,005	13,052	46	0.4
経常利益	705	92	-613	-86.9
中間純利益	400	71	-329	-82.2
総資産	113,732	139,410	25,678	22.6
純資産	16,964	15,052	-1,912	-11.3

## 種目別保険料・保険金(グループ合計)

### 種目別正味収入保険料

(億円)

	2010年度中間期		2011年度中間期	
	増減率(%)	増減率(%)		
火災	1,818	1.2	1,789	-1.6
海上	467	6.9	470	0.6
傷害	1,104	2.1	1,141	3.4
自動車	6,467	3.5	6,525	0.9
自賠償	1,412	3.2	1,413	0.1
その他	1,734	-4.5	1,711	-1.3
合計	13,005	2.0	13,052	0.4

### 種目別正味支払保険金

(億円)

	2010年度中間期		2011年度中間期	
	増減率(%)	増減率(%)		
火災	693	3.1	2,354	239.4
海上	207	-5.7	230	11.1
傷害	567	4.0	564	-0.6
自動車	4,139	7.3	4,121	-0.4
自賠償	1,311	1.1	1,307	-0.3
その他	918	-32.3	939	2.3
合計	7,838	-1.4	9,518	21.4

(注) 三井住友海上の独自商品である自動車保険「もどリッチ(満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。

## 国内損害保険事業における主要数値および指標の状況

(億円)

区分	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)		三井ダイレクト損保(単体)	
	2010年度中間期	2011年度中間期	2010年度中間期	2011年度中間期	2010年度中間期	2011年度中間期
正味収入保険料	6,234	6,436	5,583	5,431	162	168
(対前期増減率)	2.5%	3.2%	1.0%	-2.7%	3.0%	3.9%
正味損害率	67.1%	78.6%	66.6%	81.4%	77.4%	74.1%
正味事業費率	33.1%	32.6%	35.2%	35.1%	22.7%	21.9%
コンバインド・レシオ	100.2%	111.2%	101.8%	116.5%	100.1%	96.0%
保険引受利益又は保険引受損失(-)	70	-202	81	199	1	3
資産運用損益	406	302	248	-5	1	0
経常利益	466	82	306	181	2	4
中間純利益	273	53	57	148	2	4
純資産額	10,848	9,144	5,057	4,608	100	105
ソルベンシー・マージン比率	809.5%	761.1%	(*)	673.2%	666.4%	647.4%

- (注) 1. 三井住友海上の正味収入保険料、正味損害率、正味事業費率およびコンバインド・レシオは、同社独自商品の自動車保険「もどリッチ(満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。  
 2. あいおいニッセイ同和損保は、あいおい損保とニッセイ同和損保との合併会社(合併日:2010年10月1日)であり、同社の前期業績には両社の業績の単純合算値を記載しております。  
 3. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料×100  
 4. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷正味収入保険料×100  
 5. コンバインド・レシオ=正味損害率+正味事業費率  
 6. 2010年度中間期のソルベンシー・マージン比率(\*)は、あいおい損保721.0%、ニッセイ同和損保796.7%です。

○ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な指標の一つであり、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実

## 国内生命保険事業における主要数値および指標の状況

(億円)

区分	三井住友海上 きらめき生命(単体)		あいおい生命(単体)		三井住友海上 プライマリー生命(単体)	
	2010年度中間期	2011年度中間期	2010年度中間期	2011年度中間期	2010年度中間期	2011年度中間期
新契約件数	122,166件	125,089件	50,676件	68,289件	23,270件	21,312件
保有契約高	97,463	106,002	60,578	66,461	29,767	28,447
保有契約年換算保険料	1,974	2,080	749	804	4,606	4,226
基礎利益	27	36	23	-8	151	139
中間純利益又は中間純損失(-)	0	-5	7	-24	91	44
純資産額	675	569	389	332	448	589
ソルベンシー・マージン比率	2,302.5%	2,176.8%	2,152.0%	1,861.3%	1,003.0%	941.3%

- (注) 1. 新契約件数、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計を記載しております。  
 2. 年換算保険料は、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額を示しています。  
 3. 基礎利益は、保険本業の収益を示す指標の一つで、「経常利益」から「キャピタル損益」と「臨時損益」を控除したものです。  
 ※三井住友海上きらめき生命とあいおい生命は、2011年10月に合併し、三井住友海上あいおい生命となりました。

## 海外保険子会社の状況

(億円)

	2010年度中間期		2011年度中間期	
			比較増減	増減率(%)
正味収入保険料	1,025	1,017	-7	-0.8
アジア	400	469	68	17.2
欧州	321	267	-54	-16.9
米州	158	153	-5	-3.5
再保険	144	127	-16	-11.7
中間純利益	7	75	68	915.1
アジア	42	48	6	14.2
欧州	-82	17	100	-
米州	11	7	-4	-35.3
再保険	35	1	-33	-95.3

の状況が適当である」とされています。

# 会社概要／役員／株式の状況

## 会社概要 (2011年9月30日現在)

社名	MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区八重洲一丁目3番7号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	37,051名(連結)

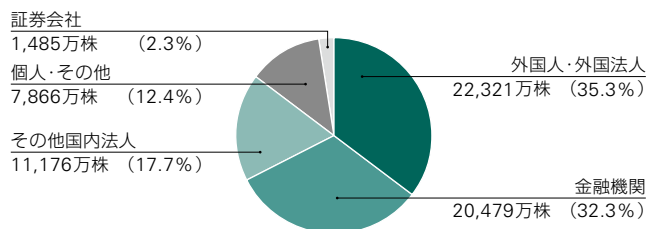
## 役員 (2011年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役)	社長執行役員	江頭 敏明
取締役(代表取締役)	執行役員	立山 一郎
取締役(代表取締役)	執行役員	柄澤 康喜
取締役(代表取締役)	執行役員	鈴木 久仁
取締役	専務執行役員	藤本 進
取締役	常務執行役員	堀本 修平
	常務執行役員	梅村 孝義
取締役	執行役員	米田 正典
	執行役員	岸本 保夫
	執行役員	太田 誠一
取締役	執行役員	藤井 史朗
	執行役員	土屋 光弘
取締役	執行役員	畑岡康二郎
	執行役員	飯島 一郎
	執行役員	杉山 浩一
		関 俊彦
		渡邊 顯
社外取締役		梅津 光弘
社外取締役		角田 大憲
社外取締役		池田 克朗
監査役(常勤)		中村 仁義
監査役(常勤)		安田 莊助
社外監査役		野村 晋右
社外監査役		手塚 裕之

## 株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行済株式の総数	633,291,754株
株主数	75,570名

### 所有者別分布状況



### 大株主状況(上位10名)

株主名	保有株式数 (万株)	持株比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	5,261	8.3
日本生命保険相互会社	3,632	5.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,012	4.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,591	4.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,530	4.0
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT – TREATY CLIENTS	1,189	1.9
NATSCUMCO	963	1.5
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	875	1.4
DEUTSCHE BANK TRUST COMPANY AMERICAS	804	1.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	753	1.2

※当社は自己株式1,138万株を保有していますが、上記大株主から除いています。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 (注) 配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、 定款の規定によりお支払いできなくなりますので、 お早めにお受け取りください。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
特別口座の 口座管理機関	住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに 掲載します。ただし、事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載 します。 <a href="http://www.ms-ad-hd.com/company/notification/index.html">http://www.ms-ad-hd.com/company/notification/index.html</a>

### 株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き  
住友信託銀行株式会社までお申し出ください。
- その他のお手続き  
(1) 証券会社に口座をお持ちの場合：お取引先の証券会社へ  
お申し出ください。  
(2) 証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座で管理されて  
いる場合)：下記お問合わせ先へお申し出ください。  
(お手続きの例)  
ご住所を変更される場合  
今後の配当金のお受け取り口座のご指定をされる場合  
単元未満株式の買取・買増のご請求をされる場合 など

### 単元未満株式の買取・買増請求について

- 証券取引所で売買できない、100株未満の株式(単元未満株式)については、買取・買増のご請求により整理することができます。
- 単元未満株式の買取請求(当社に株式の買い取りをご請求いただく方法)  
(例) 株主さまのご所有の150株のうち、当社が50株を買い取ります。  
→株主さまのご所有の株式は100株となります。
  - 単元未満株式の買増請求(当社から株式を買い増して100株単位としていただく方法)  
(例) 株主さまのご所有の150株に加え、当社から50株を買い増します。  
→株主さまのご所有の株式は200株となります。

### お問合わせ先

住友信託銀行株式会社	
〒183-8701	東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417
三菱UFJ信託銀行株式会社	
〒137-8081	東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711

## TOPIC 01

### MS&ADインシュアランス グループ グループのタグラインとして「立ちどまらない保険。」を導入、 テレビCMも放映中です！

2011年10月に、グループのタグライン<sup>(※1)</sup>として「立ちどまらない保険。」を導入しました。

「立ちどまらない保険。」には、「企業変革への挑戦」「新しい保険への挑戦」「世界への挑戦」といった、当社グループが常に果敢なチャレンジャーであり続けたいという決意が込められています。今後も当社グループは、「世界トップ水準の保険・金融グループ」の実現に向け、立ち止まることなく、絶え間ない挑戦を続けていきます。

このタグラインは、パンフレットなど各種アイテムに、「MS&AD」のロゴマークとともに登場します。また、そのコンセプトをテーマにしたCMを、グループが提供するテレビ番組<sup>(※2)</sup>で放映しています。

※1 企業のロゴマーク等に添えて使用されるスローガン、キャッチコピー等のこと。

※2 「Go Forward」：テレビ東京 毎週木曜日よる10時54分～、BSジャパン 毎週日曜日よる10時55分～

立ちどまらない保険。



INSURANCE GROUP

## TOPIC 02

### 三井住友海上あいおい生命 新たな商品ブランドを展開しています。

2011年10月1日に発足した三井住友海上あいおい生命では、商品のコンセプトや特徴などがお客さまにとってより身近に感じていただけるよう、新たな商品ブランド「&LIFE (アンドライフ)」を展開しています。「&LIFE (アンドライフ)」には、『人生で出会うたくさんの「もしも」=IFを大きな「安堵」で守る保険でありたい』という思いを込めており、新会社の主力商品に付与するブランドとなります。

また、「&LIFE (アンドライフ)」のキャラクターには、幅広い世代に馴染み深い「あらいぐまラスカル」と人気若手女優の桐谷美玲さんを起用し、親しみやすさやお客さま認知度の向上を目指しています。

人生の「もしも」を「安堵」にかえる。



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.



桐谷美玲さん

立ちどまらない保険。

**MS&AD** MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

<http://www.ms-ad-hd.com>